

学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立 久木中 学校)

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

I 子どもたちの学力向上



1 個に応じた指導の充実

実施計画

①実施計画の重点等

- 少人数授業の充実
- 選択授業の充実
- 補足的な授業の推進
- 学習相談・教科相談の充実
- 朝読書の推進

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- 基礎基本の定着をめざした指導方法の工夫・ゆとりある教材研究のための準備時間の確保および、研修の充実を図る。
- 生徒が主体的に取り組む学習をめざし、授業と家庭学習の充実を図るため、保護者への協力を促す。
- 支援教育充実に向けて、教育相談コーディネーターを中心とした校内支援体制づくりを推進する。
- 読書活動の推進を図るため、PTA・地域学習支援ボランティアの協力を仰ぐ。

行動プラン

	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
① 基礎学力定着のための 個に応じた指導の充実	①学習状況調査や全国学力・学習調査の結果を分析し、実態を把握するための体制づくりの検討をする。 ②少人数・習熟度別指導、TTなどの多様な学習形態を活用し、基礎基本の定着を図る。 ③個人用のカルテを検討する。 ④補習、学習相談の体制づくりの検討をする。	①学習調査から課題を分析し、指導方法の工夫・改善をする。 ②少人数・習熟度別指導、TTなどの指導方法の工夫・改善を研究する。 ③個人用のカルテを検討、試行する。 ④放課後の補習、学習相談の試行をする。 ☆評価基準を明確にし、指導の一体化を図る。	①指導方法の工夫・改善を継続する。 ②理科の1年生一部のTT授業の実施をする。 ③個人用のカルテを活用する。 ④放課後の補習、学習相談を実施する。 ☆評価基準を明確にし、指導の一体化を図る。
	評価 A ㊦ C	評価 S ㊦ B C	評価 S A B C
	課題 ・具体的な手立てや到達目標についての共通理解が不十分だった。 ・個人用の学習カルテの検討ができなかった。	課題 ・放課後の補習を計画的に行う必要がある。	

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
② 読解力向上の取り組みの推進	①学習状況調査や全国学力・学習調査の結果を分析し、実態を把握するため、読解力向上を図る校内体制づくりを検討する。 (・ディベート・学年主張発表会・行事後の新聞づくり・自己PR書づくり・朝読書等に生かす。)	①読解力向上検討委員会で各学習調査の課題を分析する。 ②「読解力向上プラン」をもとに各教科・総合的な時間の読解力向上のための実践を検討する。 ☆一人ひとりの学習状況を把握し改善を生かす。	①「読解力向上プラン」をもとにした各教科・総合的な時間の読解力向上のための実践をする。 ☆一人ひとりの学習状況を把握し改善を生かす。
	評価 A B C	評価 S A B C	評価 S A B C
	課題◆読解力向上プランを生かすための教科指導の研修・研究が不足していた。	課題◆新指導要領になり読解力向上のための取り組みを教科指導の中でどのように生かすか検討する。	

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
③ 読書活動の推進	①朝読書の実施状況を調べ、課題を明確にし時間の充実を検討する。 ②図書館の活用の充実を図るため、来年度へ向けた図書室利用の計画立案をする。 ③読書記録カードの工夫をする。	①日課の工夫を含め朝読書の充実した定着化、PTAと図書委員会との共同活動を試行する。 ②授業での図書室利用を含めた読書活動の実践をする。 ③読書記録カードの充実をめざす。 ☆地域やPTA等を活用した読み聞かせを実施する。	①PTAと図書委員会との共同活動の定着化を図る。 ②授業での図書室利用を含めた読書活動の充実をめざす。 ③読書記録カードの活用をめざす。 ☆地域やPTA等を活用した読み聞かせを実施する。
	評価 A B C	評価 S A B C	評価 S A B C
	課題 ・日課の工夫による朝読者や短学活での読書の充実した定着が必要。	課題◆地域やPTAを利用した読み聞かせを計画的に行う事ができなかった。	

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
④ 支援教育の充実	①教育相談コーディネーターを中心とし、地域教育力の活用も視野に入れた校内体制を構築する。 ②一人ひとりの実態把握に努め、支援に必要な生徒ケース検討を教育相談を中心に行う。 ③個に応じた個人用カルテづくりを検討する。 ④支援教育に対する教職員間の共通理解を図るための研修会を開催する。	①教育相談コーディネーターを中心とした校内体制による支援教育を推進する。 ②一人ひとりの実態把握に努め、ケース会議開催を定期化する。 ③個人用カルテの活用を試行する。 ④支援教育研修会の開催し、教職員、保護者の共通認識を図る。	①教育相談コーディネーターを中心とした校内体制による支援教育を推進する。 ②一人ひとりの実態把握に努め、ケース会議開催を定期化する。 ③個人用カルテの活用をする。 ④支援教育研修会の開催し、教職員、保護者の共通認識を図る。 ☆学校全体で教育支援の取り組みをする。
	評価 A B C	評価 S A B C	評価 A B C
	課題 ・スクールカウンセラーやうるおいフレンドを交えての支援会議の定例化	課題 ・教育コーディネーターの後追いの県費非常勤も配属され推進できたが、さらなる研修が必要である。	

学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立 久木中 学校)

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

I 子どもたちの学力向上



2 健やかな心と身体の育成

実施計画

①実施計画の重点等

- 道徳授業・学級活動・朝読書の充実
- 不登校・いじめ問題への積極的な取り組み
- スクールカウンセラー・心の教室相談員・教育研究所相談員・適応指導教室・民生委員・他機関等との連携
- ヘルスカウンセリング(健康相談)の充実

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- 地域や保護者の安定した協力を長期にわたって得られる工夫をする。
- 人間力(問題解決力、社会的実践力、豊かな心情)の向上を目指した体験の充実を図る。
- 自然体験、生活体験、勤労体験等、地域教育力の活用 of 充実を図る。

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
① 基本的な生活習慣の 育成	①問題や課題から支援の具体を知るため、分掌部会で調査分析を行う。また積極的な情報発信をし、PTAの協力を得る。 ②授業規律の確立・集団生活のルールを守る等の基本的態度の育成を徹底する。	①課題を分析し、指導の工夫・改善をする。また、家庭への協力要請、PTA・地域と学校が連携して取り組む。積極的な情報発信を行う。 ②継続 ☆学年や分掌での組織的な取り組みや手立ての共通化などの工夫をする。	①家庭・地域・学校がそれぞれの役割分担を決め活動をする。 ②授業規律の確立・集団生活のルールを守る等の基本的態度の育成を徹底する。 ☆学年や分掌での組織的な取り組みや手立ての工夫をする。
	評価 A (B) C	評価 S A (B) C	評価 S A B C
課題	・共通理解を図ったが十分な成果が得られなかった。	課題 ・共通理解のための生徒指導マニュアルを作成した。	

行動プラン

H19(2007)年度予定内容

H20(2008)年度予定内容

H21(2009)年度予定内容

②
豊かな心を育む教育の充実

①学級活動・生徒会活動また、行事におけるブロック活動の充実への見直しをする。 ②あいさつ運動実施の充実を検討する。 ③ブロック活動の発展として、奉仕活動の充実を図る。
評価 A B C
課題◆学級活動や生徒会活動など行事における縦割りブロック活動を日常の中に生かす工夫が足りなかった。

①学級活動・生徒会活動また、行事におけるブロック活動の充実をめざす。また、ブロック活動の拡大と試行をする。 ②あいさつ運動の定着化と、生徒会活動から学年活動への担当の拡大を図る。 ③継続
評価 S A B C
課題 ・あいさつ運動を全校体制へ押し進めることが課題である。

①学級活動・生徒会活動また、行事におけるブロック活動の充実をめざす。ブロック活動の定着化を図る。 ②あいさつ運動の定着化を図る。 ③ブロック活動の発展として、奉仕活動の充実を図る。
評価 S A B C

行動プラン

③
豊かな体験活動の推進

H19(2007)年度予定内容 ①総合学習・学活・道徳の内容および計画の見直しと、課題の分析をする。 ②環境学習＝1年、福祉学習・職業体験学習＝2年、保育士体験＝3年、ボランティア活動、ディベート大会等への積極的な参加を図る。 ③青少年指導員や地域の団体との連携体制づくりをする。
評価 A B C
課題◆地域との連携体制作りを意図的・計画的に生かせなかった。

H20(2008)年度予定内容 ①課題を分析し、3年間を見通した指導計画の作成および指導の工夫・改善をする。 ②～③継続
評価 S A B C

H21(2009)年度予定内容 ①課題を分析し、計画の定着を図る。 ②環境学習＝1年、福祉学習・職業体験学習＝2年、保育士体験＝3年、ボランティア活動、ディベート大会等への積極的な参加を図る。 ③青少年指導員や地域の団体との連携体制づくりをする。
評価 S A B C

行動プラン

④
健康教育の推進

H19(2007)年度予定内容 ①健康教育・安全教育・性教育・食育の充実を図るため、指導計画の見直しをする。 ②地域講師による健康教育・安全教育の定着化を図る。 (喫煙防止・薬物乱用防止・エイズ教育・不審者対策)
評価 A B C
課題◆地域講師を活用した性教育・食育指導などの推進が図れなかった。

H20(2008)年度予定内容 ①健康教育・安全教育・性教育・食育の新しい指導計画の試行をする。 ②継続 ③地域講師を活用した性教育・食育指導の推進をする。
評価 S A B C
課題◆かながわいきいきスクールとの関連からの食育指導が計画的に行うことができなかった。

H21(2009)年度予定内容 ①指導計画の実施および定着化を図る。 ②地域講師による健康教育・安全教育の定着化を図る。(喫煙防止・薬物乱用防止・エイズ教育・不審者対策) ③地域講師を活用した性教育・食育指導の推進をする。 ☆食育委員会の設置
評価 S A B C

学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立 久木中 学校)

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

II 課題に迅速に対応する学校づくり



1 多様な教育課題への対応

実施計画

①実施計画の重点等

- 確かな学力・主体的な学習態度の育成
- 心の教育の推進と生徒指導の充実
- 教育環境の整備と保健・安全教育の推進

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- 教職員の相互理解、報告・連絡・相談、チームワークの充実を図る。
- 教育相談コーディネーターを中心とした、課題解決への主体的・組織的な支援体制の確立を図る。
- 保護者・地域・外部機関との連携強化をする。
- 教育課題に迅速に対応する組織づくり・受け皿づくりへの対応をする。

行動プラン

①
子どもの安全と安心の
確保の推進

H19(2007)年度予定内容

- ①安全管理マニュアルを再検討する。
- ②授業中、休み時間等校舎巡回をする。
- ③家庭、地域、関係機関との連携を強化する。
- ④事故防止研修会を開催する。

評価 A **B** C

課題◆教職員の危機管理意識の更なる向上が必要である。

H20(2008)年度予定内容

- ①安全管理マニュアルの完成、職員の周知を図る。
- ②～④継続
- ☆昨年度作った生徒の緊急時の対応マニュアルを生徒・職員への周知を図る。

評価 S **A** B C

課題◆危機管理意識の更なる向上が必要である。

H21(2009)年度予定内容

- ①安全管理マニュアルを活用する。
- ②授業中、休み時間等校舎巡回をする。
- ③家庭、地域、関係機関との連携を強化する。
- ④事故防止研修会を開催する。
- ☆緊急時の対応マニュアルを生徒・職員への周知を図る

評価 S A B C

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
② いじめ・不登校等への 対応の推進	①相談内容、件数の推移を分析し、マニュアルづくりを検討する。 ②アンケートや個人ノートを活用し、生徒理解を図る。 ③全教育活動を通しての人間尊重教育の推進を図る。 ④SC、心の教室相談員、外部機関との連携を強化する。	①マニュアルを作成し、試行する。 ②～④継続	①マニュアルを活用し、迅速に対処する。 ②アンケートや個人ノートを活用し、生徒理解を図る。 ③全教育活動を通しての人間尊重教育の推進を図る。 ④SC、心の教室相談員、外部機関との連携を図り活用する。
	評価 A (B) C	評価 (S) A B C	評価 S A B C
	課題◆マニュアルについての検討が遅れている。	課題	

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
③ 幼稚園・保育園・小学 校・中学校の連携の 推進	①幼・保・小・中との連携推進をめざし、課題を検討する。 ②支援シート等、引継ぎ内容・方法の検討をする。 ③各行事間での交流を積極的に図る。 (保育士体験・合唱発表・運動会会場)	①幼・保・小・中との連携推進をめざし、課題に取り組む。 ②引継ぎ支援シートの活用を試行する。 ③継続 ☆支援シートに取り扱いについて小中の連携と深め、合同の支援会議ができるような協力が必要である。 ☆指導要領の改訂を踏まえて、ねらい等を検討し連携を充実する。	①幼・保・小・中との連携推進をめざし、課題に取り組む。 ②引継ぎ支援シートの活用をする。 ③各行事や教科における交流を積極的に図る。 (保育士体験・合唱発表・運動会・英語・保体) ☆支援シートに取り扱いについて小中の連携と深め、合同の支援会議ができるようにする。 ☆指導要領の改訂を踏まえて、教科等での連携を図る。
	評価 A (B) C	評価 S (A) B C	評価 S A B C
	課題・小中間での支援シート等の引き継ぎがスムーズに行われていない。(新入生の情報交換や対応はスムーズでした。)	課題◆教科における授業交流が遅れている。	

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
④ 国際理解教育の推進	①教科や総合の時間での年間指導計画を検討する。 ②IEAを活用しての、少人数英会話授業の充実を図る。 ③ゲストティーチャーの活用を検討する。	①年間指導計画の推進を図る。 ②IEAを活用しての、少人数英会話授業の充実を図る。 ③ゲストティーチャーによる異文化体験授業を実施する。	①年間指導計画の推進を図る。 ②IEAを活用しての、少人数英会話授業の充実を図る。 ③ゲストティーチャーによる異文化体験授業を実施する。 ④国際交流センターの利用した異文化体験学習を
	評価 A B (C)	評価 S (A) B C	評価 S A B C
	課題◆年間を見通したIEA活用が計画的に行われていなかった。	課題◆IEA講師が計画的に配置されているにもかかわらず変わってしまい計画通りに進まない。	

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
⑤ キャリア教育の推進	①進路学習の指導計画の見直しをする。 ②地域講師の活用を意図的計画的に行う。 ③ニーズにあった職業・進路に関する講演会を開催する。	①進路学習の計画的実施と指導内容の充実を図る。 ②地域講師の活用を意図的計画的に行う。 ③職業・進路講演会の充実を図る。 ☆指導要領の改訂を踏まえて、教育課程全体の検討の中から、キャリア教育の意義を明確にする。	①進路学習の計画的実施と指導内容の充実を図る。 ②地域講師の活用を意図的計画的に行う。 ③職業・進路講演会の充実を図る。 ④職業体験日数の検討をする。 ⑥職業体験学習の時期の検討を始めていく。
	評価 A (B) C	評価 S (A) B C	評価 S A B C
	課題 ・キャリア教育の意義について共通理解が薄かった。	課題	

行動プラン

⑥
福祉教育の推進

	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
	①福祉に対する理解と関心を高める学習会を開催する。 ②福祉体験学習の充実を図る。 ③教職員のコーディネーター養成を検討する。	①～②継続 ③コーディネーターの活用を試行する。 ☆実施学年や本校としての狙いを明確にした教育課程の編成を検討、作成する。	①福祉に対する理解と関心を高める学習会を開催し意識の向上を図る。 ②福祉体験学習の充実を図る。 ③コーディネーターを活用する。 ☆実施学年や本校としての狙いを明確にした教育課程の編成をする。
評価	A (B) C	評価 S (A) B C	評価 S A B C
課題		課題 ・コーディネーターを十分に活用することができなかった。	

行動プラン

⑦
環境教育の推進

	H19(2007)年度実施内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
	①地域の環境問題に関心を高める。 ②生徒会が中心となつての身近な環境について取り組む。(MIX用紙の回収・用紙のリサイクル見学・生徒大会での取組み等) ③ディベート等で環境問題を考える。	①～③継続 ☆指導要領の改訂を踏まえて、本校における考え方やねらい、実施学年など明確にした教育課程の編成を検討、作成する。 ☆グリーンカーテンの取り組みを通して環境学習についての意識の高揚を図る。	①地域の環境問題に関心を高める。 ②生徒会が中心となつての身近な環境について取り組む。(MIX用紙の回収・用紙のリサイクル見学・生徒大会での取組み等) ③ディベート等で環境問題を考える。☆指導要領の改訂を踏まえて、本校における考え方やねらい、実施学年など明確にする。 ☆グリーンカーテンの取り組みから意識の高揚を図る。
評価	A (B) C	評価 S (A) B C	評価 S A B C
課題		課題	

行動プラン

⑧
情報教育の推進

	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
	①3学年を見通した、情報モラル教育の充実を図る。 ②情報活用能力を高める実践の工夫をする。 ③教職員の情報教育モラル向上のための研修会を開催する。	①～③継続 ☆管理マニュアルを作成し情報管理に活用する。	①3学年を見通した、情報モラル教育の充実を図る。 ②情報活用能力を高める実践の工夫をする。 ③教職員の情報教育モラル向上のための研修会を開催する。 ☆管理マニュアルを作成し活用する。
評価	A B (C)	評価 S (A) B C	評価 S A B C
課題	課題・学校全体の取り組みとして研修等が実施できなかった。そのため、情報モラルについての充実が十分に図れなかった。	課題◆管理マニュアルの作成が遅れている。	

学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立 久木中 学校)

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

II 課題に迅速に対応する学校づくり

2 地域に開かれた学校づくり

実施計画

①実施計画の重点等

- 地域とのふれあい活動の充実
- 地域に開かれた学校づくりに関する教職員の意識の改革
- 学校評議員や学校評価委員による学校評価を、教育活動に生かす。

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- 学校だより・ホームページ・メーリングサービス等を活用した教育情報の積極的発信を行う。
- 学校の情報発信について保護者や地域の意見を伺う。
- 地域人材リストの作成と活用を行う。

行動プラン

① 地域への情報発信と学校公開の工夫

	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
①	①久中だより、HPについて時期、内容、目的等を調査し、充実した情報発信に生かす。 ②メーリングサービスの体制づくりと実施をする。 ③学校説明会・授業参観・学校へ行こう週間等で地域や家庭への学校経営について情報提供・公開をする。	①～③継続 ☆ホームページの計画的な更新を図る。	①久中だより、HPについて時期、内容、目的等を調査し、充実した情報発信に生かす。 ②メーリングサービスの体制づくりと実施をする。 ③学校説明会・授業参観・学校へ行こう週間等で地域や家庭への学校経営について情報提供・公開をする。 ☆ホームページの計画的な更新を図る。
評価	A <input checked="" type="radio"/> B C	評価 S A <input checked="" type="radio"/> B C	評価 S A B C
課題	・ホームページの更なる充実が図れなかった。	・前年度よりは充実したが更なる充実を計画的に図る必要がある。	

行動プラン

②
地域教育力の活用

H19(2007)年度予定内容

H20(2008)年度予定内容

H21(2009)年度予定内容

①人材バンクを作る。 ②長期にわたり安定した地域組織との連携づくりをする。 ③教師の専門性を生かした地域交流のあり方を考える。	①～③継続 ④定期的に地域協力者会を開催し、地域と協働の授業展開を考える。 ☆ボランティアの活用場面を検討し、教育課程の中に位置づけていく。	①人材バンクの整理、活用の仕方。 ②長期にわたり安定した地域組織との連携づくりをする。 ③教師の専門性を生かした地域交流のあり方を考える。 ④定期的に地域協力者会を開催し、地域と協働の授業展開を考える。
評価 A <input checked="" type="radio"/> B C	評価 S A <input checked="" type="radio"/> B C	評価 S A B C
課題 ・人材バンクの各領域や場面での整理が上手くなされていなかった	課題 ・人材バンクの活用がうまくなされなかった。	

行動プラン

③
学校評価を生かした学校の改善

H19(2007)年度予定内容

H20(2008)年度予定内容

H21(2009)年度予定内容

①外部評価の導入を再検討する。 ②評価後の改善点を明らかにし、評価方法を検討する。	①外部評価を導入し課題検討と改善を図る。 ②継続 ☆学校評価を見直し、改善していく。 ☆関係者評価の検討	①外部評価の導入を再検討する。 ②評価後の改善点を明らかにし、評価方法を検討する。 ☆学校評価を見直し、改善していく。 ☆関係者評価の活用
評価 <input checked="" type="radio"/> A B C	評価 S <input checked="" type="radio"/> A B C	評価 S A B C
課題	課題 ・関係者評価を十分検討できなかった。	

学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立 久木中 学校)

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

Ⅲ 教員の指導力向上

1 教員研修・研究の充実

実施計画

①実施計画の重点等

- 「確かな学力の育成」をめざした校内研究の活性化と充実
- 指導と評価の一体化をめざした授業改善および授業力の向上
- 学校の教育力を支える教員の資質の向上・指導力の向上
- 教師の力量を高めるための研修の充実

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- 適切な授業評価の方法の研究と実践的指導力を養う。
- 世代間交流を通して、経験の浅い教員の力量を高める等積極的育成に当たる。
- 地域の素材、人材の開発等、地域の協力を仰ぐ。

行動プラン

①
授業研究の充実

H19(2007)年度予定内容

①全員による授業公開を行い、外部指導者を招いての研究会の充実を図る。
②個人、教科テーマを設定し授業力向上を推進する。
③教員の世代間交流を通じて、教員の資質・力量の向上を図る。

H20(2008)年度予定内容

研究授業を多く実施し、多数の教師の参加体制を作る。
①～③継続
☆指導要領改訂に伴い、教科や学年のねらいを明確にしなが授業研究を継続する。

H21(2009)年度予定内容

研究授業を多く実施し、多数の教師の参加体制を作る。
①全員による授業公開を行い、外部指導者を招いての研究会の充実を図る。
②個人、教科テーマを設定し授業力向上を推進する。③教員の世代間交流を通じて、教員の資質・力量の向上を図る。
☆指導要領改訂に伴い、教科や学年のねらいを明確にしなが授業研究を継続する。

評価 A (B) C

評価 (S) A B C

評価 S A B C

課題 ◆授業中の全教師による公開授業なのでその時間にあいている教師のみの授業参観なのが課題。

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
② 授業評価の活用	①評価基準の見直しと検討を行う。 ②授業評価シート項目の検討する。 ③指導と評価の一体化をめざした授業改善を行う。 ④指導計画および評価計画を公表する。	①～②継続 ③外部講師等の専門家を活用した授業評価を取り入れる。 ④評価基準の公表をする。 ☆関係者評価の導入を進める。	①評価基準の見直しと検討を行う。 ②授業評価シート項目の検討する。 ③外部講師等の専門家を活用した授業評価を取り入れる。 ④評価基準の公表をする。 ☆関係者評価の導入を進める。
	評価 A (B) C	評価 S A (B) C	評価 S A B C
	課題	課題 外部講師等の専門家を活用した授業評価が十分できなかった。	

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
③ 地域教材の積極的活用・開発の促進	①地域教材の開発を計画する。	①地域教材活用のため、講師を招き研修会を行う。 ②行事、昔話、文化財など地域、郷土を知る活動を行う。 ☆地域教材の開発に取り組む。	①地域教材活用のため、講師を招き研修会を行う。 ②行事、昔話、文化財など地域、郷土を知る活動を行う。 ☆地域教材の開発に取り組む。
	評価 A B (C)	評価 S (A) B C	評価 S A B C
	課題 ・学校全体で地域教材活用の取り組みには至らなかった。	課題 ・地域教材の開発が十分できなかった。	

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
④ 研修事業の充実	①初任者研修や年次経験者研修等、経験年数や職務内容に応じた各種研修の積極的な参加を促す。 ②参加体制づくりを確認する。 ③研修会および研究会への参加を推進する。	①～③継続 ④研修の成果を伝達し、情報の共有化を図る。	①初任者研修や年次経験者研修等、経験年数や職務内容に応じた各種研修の積極的な参加を促す。 ②参加体制づくりを確認する。 ③研修会および研究会への参加を推進する。 ④研修の成果を伝達し、情報の共有化を図る。
	評価 A (B) C	評価 S (A) B C	評価 S A B C
	課題◆校内研究は十分成果はあったが研修の情報の共有化が不十分であった。		